

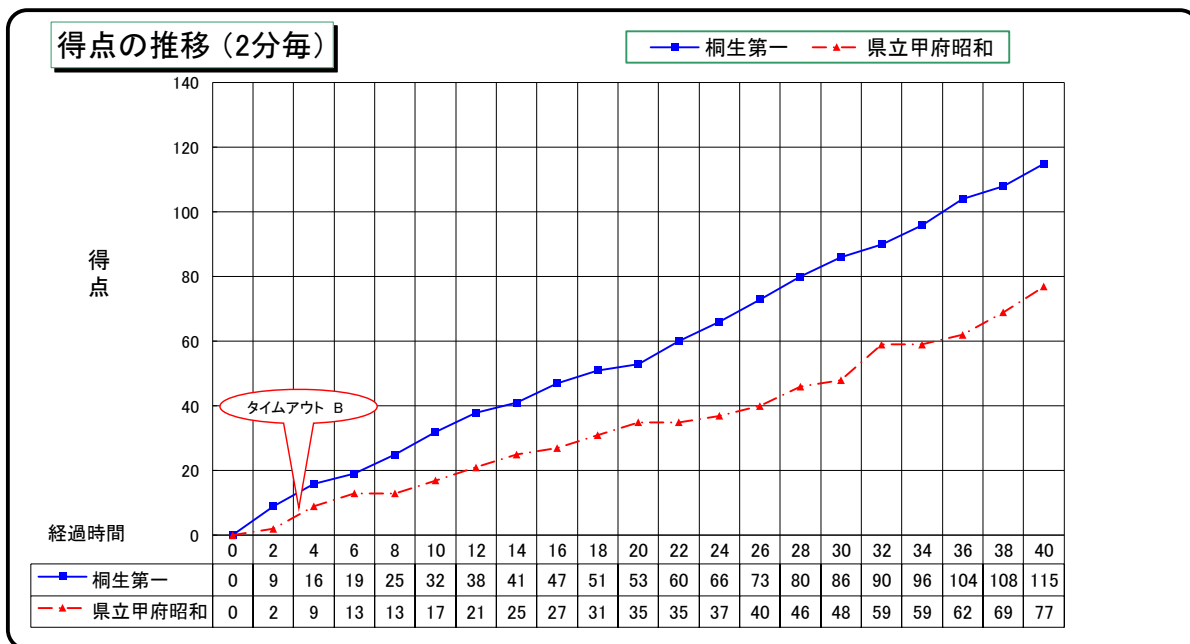
# 平成23年度 第22回 関東高等学校バスケットボール新人大会 【男子】 <1回戦>

平成24年 2月11日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Bコート	第4試合 13:30~													
<b>&lt;チームA&gt;</b> <b>桐生第一</b> 群馬		115 { <table border="0"> <tr><td>32</td><td>1Q</td><td>17</td></tr> <tr><td>21</td><td>2Q</td><td>18</td></tr> <tr><td>33</td><td>3Q</td><td>13</td></tr> <tr><td>29</td><td>4Q</td><td>29</td></tr> </table> } 77		32	1Q	17	21	2Q	18	33	3Q	13	29	4Q	29	<b>&lt;チームB&gt;</b> <b>県立甲府昭和</b> 山梨	
32	1Q	17															
21	2Q	18															
33	3Q	13															
29	4Q	29															
主審: 木村 幸司(茨) 副審: 根岸 寿治(茨)																	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	ドウティエン・チュン	14		5	4	1
◎	5	平栗 一真	19		9	1	1
◎	6	西山 誠也	7	1	2		
○	7	中野 史紀	6		3		1
◎	8	小倉 溪	13		6	1	
○	9	成田 将輝	7	1	2		1
◎	10	坂下 竜成	2		1		3
○	11	小堀 賢人					1
○	12	井上 翔真	2		1		
◎	13	磯田 貴大	10		5		
○	14	小森 涼太					1
○	15	落合 亮太	6		2	2	5
○	16	齋藤 涼一	12		5	2	1
○	17	山本 剛士	8		4		
○	18	古郡 岬	9	1	3		
		コーチ 蛭間 貞夫					
合計			115	3	48	10	15

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
○	4	内藤 寛晴	2		1		2
◎	5	塩澤 俊哉	22		10	2	2
◎	6	田中 俊介	13		6	1	2
◎	7	相原 吏	16		6	4	3
◎	8	平山 裕太	4		2		1
◎	9	石原 嵩土	3		1	1	
○	10	芦沢 辰紀	2		1		
	11	仙洞田 翼					
○	12	芦澤 吏生	4		1	2	4
○	13	長田 敏希	11		5	1	1
	14	功刀 一晟					
○	15	古川 航大					
○	16	内藤 伸明					
	17	宇都宮昌樹					
	18	青柳 京介					
		コーチ 澤田 昌宏					
合計			77		33	11	15

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



**戦 評** 記入者: 笹沼 典人

第1P, 桐生第一(以下桐生), 県立甲府昭和(以下甲府)ともにマンツーマンディフェンスで試合開始。桐生は⑥西山の3pで先制し, 主導権を握ると, ④ドウティエンのドライブからのパスに⑤平栗が合わせ, 得点を重ねる。対する甲府は, 桐生の厳しいディフェンスにシュートを打てず, 16-4と12点差になったところで, たまらずタイムアウトを請求。流れを変えたい甲府は⑧平山の3pから反撃し始めるも桐生も譲らず32-17の桐生リードで第1P終了。

第2P, 甲府は⑤塩澤⑥田中がオフェンスリバウンドから得点し, チームを勇気付ける。しかし, 桐生のドライブインを抑えきれず, なかなか差を縮めることができない。その後は一進一退の攻防が続く, 53-35の桐生18点リードで前半を終える。

第3P, 両チームともマンツーマンディフェンスで試合再開。甲府はインサイドの選手がリバウンドで奮闘し, ボールを保持, 攻撃に転ずるも, 桐生ディフェンスのプレッシャーからミスを犯し, ターンオーバーが増えていく。その間も桐生は速い展開からノーマークを作り, 着実に得点を重ねる。桐生は選手が交代しても, ボールマンへのプレッシャーが緩むことはなく, 甲府につけ入る隙を与えない。桐生優勢のまま, 86-48で第3P終了。

第4P, 桐生は序盤でベンチ入り全選手がコートに立つ。甲府は⑤塩澤⑬長田がアウトサイド, ⑥田中がインサイドで意地を見せ得点するも, リズムを掴みかけたところでシュートを決めきれない。結局桐生優勢は変わらぬまま115-77で試合終了。桐生のチーム一丸となった厳しいディフェンスが印象に残った試合であった。